

## シンポジウム趣意

人口が密集し様々なインフラが集積した現代都市に災害が発生すれば、電力や水道それに情報通信や人流・物流の機能不全もきたす複合災害となります。その対応には各方面からの学際的なアプローチが問題解決に必要となり、そのためには専門家が一堂に会し議論を深め、情報共有することが求められます。

「日本CBRNE学会」は、時代に即した人命救助、健康支援や人道支援全般を支える専門家が集うオープンプラットフォームです。これが機能することにより、危機管理に対応ができる社会となり、将来にわたり平和と安定に寄与することとなります。

このような背景を踏まえ、今後、日本、世界で発生が想定される複合災害(CBRNE災害)の実態及びその対策、また東日本大震災の際に展開された「米軍トモダチ作戦」に関して理解を深めるためシンポジウムを開催します。



理事長 石井 正三



会長 山口 芳裕

### CBRNE(シーバーン)

CBRNEとは、C:chemical(化学的)、B:biological(生物学的)、R:radiological(放射線)、N:nuclear(核)、E:explosion(爆発)、をまとめて表記したものです。これらの事象による特殊災害は「CBRNE災害」と総称されます。もう一方の概念は単一で単純な事象としての水害や地震などの「一般災害」になります。災害事象は大規模化すればCBRNE災害を含んだ複合災害になるのです。



日本CBRNE学会

2023年(令和5年)

10月15日

参加  
無料  
事前申込制

開催時間

午前9時30分～16時05分

会場／東日本国際大学1号館201教室

主催 日本CBARNE学会、東日本国際大学健康社会戦略研究所

共催 いわき市医師会、NBCR(核・生物・化学・放射能)対策推進機構、  
地域医療連携推進法人医療戦略研究所

### 申込方法

参加希望の方は、電話・メール・はがき・FAXのいずれかで、  
①参加される代表者のお名前(フリガナ)②参加人数③代表者の連絡先④昼食のご利用  
人数をお知らせください。

参加申込締切 10/11水

ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

お問い合わせ・申し込み窓口

学校法人昌平豊 総務部総務課

日本CBRNE学会×東日本国際大学健康社会戦略研究所共同シンポジウム  
複合災害(CBRNE災害)対策へのアプローチ  
東日本大震災から12年、今後の課題解決を探る



東日本国際大学

■経済経営学部 ■健康福祉学部

いわき短期大学

■幼児教育科

TEL.0246-35-0415 ※平日9:00～17:00受付

FAX.0246-25-9188 ※24時間受付対応

メール soumu@tonichi-kokusai-u.ac.jp

はがき 〒970-8023 いわき市平鎌田字寿金沢37

〒970-8023 福島県いわき市平鎌田字寿金沢37 TEL.0246-35-0415(代) FAX.0246-25-9188





2023 年 4 月に「日本 CBRNE 学会」がスタートした。CBRNE はシーバーンと読み、C：chemical 化学的、B：biological 生物学的、R：radiological 放射線、N：nuclear 核、E：explosive 爆発物という、特殊災害を総て網羅した概念となる。

医学領域だけでなく、それぞれの分野の専門家と災害対応に加わるさまざまな分野の方々が情報交換できるアカデミックなプラットフォームとして機能することを目指す、わが国で初めての学会である。指名により、私が初代理事長を拝命して活動を開始した。

私の地元福島県いわき市は東日本大震災&津波+原発事故の被災直後から、その対応バックアップの拠点や避難所として多くの役割を果たして来た。私が所長を務める「東日本国際大学健康社会戦略研究所」とコラボして、10月15日に大学1号館で下記のシンポジウムを企画した：

「日本 CBRNE 学会×東日本国際大学健康社会戦略研究所 共同シンポジウム」  
 複合災害（CBRNE 災害）対策へのアプローチ  
 — 東日本大震災から 12 年、今後の課題解決を探る —

いわき市は東北地方で人口第 2 位約 35 万人の街である。午前中では、当時の木田光一医師会長から「東日本大震災の医療活動で感じたこと」、続いて日本 CBRNE 学会長山口芳裕杏林大学教授から「CBRNE 災害としての東日本大震災」の報告があった。

午後からは米軍トモダチ作戦セッションとして、礒部晃一元東部方面総監・陸将「福島原発事故における政府の対応—トモダチ作戦の最前線」、伊藤利光前陸上自衛隊衛生学校長「米軍との衛生共同訓練の現状」、山本哲生

一等陸佐・自衛隊中央病院臨床医学教育・研究部長「トモダチ作戦における放射線対処—陸上自衛隊衛生科部隊の原子力災害派遣活動」のプレゼンがそれぞれあった。最後に「現地と専門集団を繋ぐ総合討論」が行なわれ、本学会らしい複合災害における官民合わせた多職種連携の諸相について論議が交わされた。

アルプス処理水の海洋放出を含めて、今後もさまざまなテーマにおいて問題解決型の論議が必要とされる現地において、展示ブースにおける具体的なプレゼンテーションも含めて、多彩な方々が一堂に会して情報を共有し、更に未来への提言を論議する機会となった。

The Japan CBRNE Society was established in April 2023. I was appointed as the board chair of the society, which was consisted with various type of members as researchers, firemen, physicians, military forces, institutions and companies.

<The joint symposium by the Japan CBRNE society and the Healthy Society Strategic Institute of the Higashi-Nippon International University> -Approach to Countermeasures to CBRNE disaster learned from the Great Eastern Earthquake and Tsunami with Nuclear Disaster- was held at the Higashi-Nippon International University in Iwaki-city, the nearest university in the world from the exploded nuclear power stations on 15 Oct 2023. Various aspects concerning to the complexed disaster are discussed including the Tomodachi Operation as the First joint humanitarian mission with US and Japan's military forces.

医療連携推進法人 医療戦略研究所/ 所長  
(医)&(社福) 正風会/ 理事長  
学校法人昌平齋 東日本国際大学/健康社会戦略研究所/所長・教授  
石井 正三